



新年明けましておめでとうございます。本年も皆様に最新の情報を提供して参ります。

大島事業所トピック

No. 318

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行
〒100-0212 東京都大島町波浮港 18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成 19 年 1 月 10 日

養殖礁によるアワビ類養殖技術の確立に向けて！

--- 養殖礁によるアワビ類養殖試験 ---

大島事業所では、伊豆大島の差木地漁港内においてアワビ稚貝の飼育実験を行い、伊豆諸島における新たな貝類養殖の展開に向けて研究を進めています（トピックNo.297で紹介）。今回は、この養殖技術の確立に向けた最近の取り組みについて紹介します。

「養殖礁」とは？

「養殖礁」とは、海底に設置した石詰め式の生け簀のことで、クロアワビ稚貝の飼育実験をおこなったところ、陸上養殖の約 2.1 倍の成長量と、70%以上の年間生残率が得られました。そこで次に、伊豆諸島に生息する 3 種類のアワビ（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビ）のうち、漁獲の大部分を占める、クロアワビとメガイアワビについて、養殖礁における、成長速度や育てやすさについて比較検討しました。

伊豆大島の泉津漁港に設置した養殖礁でクロアワビとメガイアワビの稚貝を一緒に飼育したところ、殻長成長量と生残率はほぼ同じでしたが、肥満度^{*}は、クロアワビのほうが大きくなりました（図 1）。これらの結果、伊豆大島で養殖をおこなう場合、クロアワビ、メガイアワビともに、良好な生育を示すことが

わかりました。また、クロアワビは、同じ殻長のメガイアワビよりも体重が重くなることがわかりました。

式根島で飼育実験を始めました！

伊豆諸島全体への普及の可能性を見極めるために、伊豆大島の約 50 km 南に位置し、年間の平均水温が高い式根島で、養殖礁によるクロアワビとメガイアワビの稚貝の飼育実験を始めました。養殖礁は、式根島水産振興センターのシマアジ養殖池内に設置し、12 月 6 日に大島から平均殻長約 27 mm の稚貝を各種 500 個輸送しました（写真 1）。この実験は、式根島水産振興センターの協力を得て、約 1 年間行う予定です。大島事業所では、今回紹介した取り組みの他にも、養殖礁の改良や、配合飼料の適正給餌量の把握のための試験などを行い、近い将来、養殖技術を確立させたいと思っています。

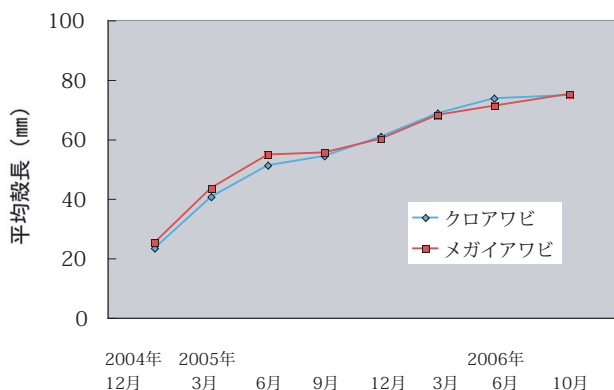


図 1 泉津漁港の養殖礁におけるアワビ類の成長



写真 1 養殖礁への稚貝収容風景（式根島）

^{*}肥満度：殻長と体重の関係を数値化したもので、同じ殻長における体重を比較するための目安となります。